# 半促成アールス系メロン(赤肉)の有望品種検討

1. 目的(取り上げた理由)

【現状】30戸、4.6ha、単収3,300kg/10a

市場から赤肉メロンと緑肉メロンの2個入り王冠箱の要望がある。

アールス系赤肉メロンは市場向けの栽培がされていないため、半促成での有望品種を検討する。

### 2. 方法

### 1)供試品種

供試品種名(育成種苗会社名)	播種日	定植日	
モネレッド907早春晩秋系(みかど協和)			
モネレッド1035夏系(みかど協和)			
ロイヤルレッド(神田育種)	3月15日	4月9日	
妃春秋系(横浜植木)			
パリス春Ⅱ(八江農芸)			

- 2) 試験区の規模 : 1区22株 2区制
- 3) 育苗方法: セルトレー(128穴)に播種した後、10.5号ポット(自根)に移植し定植
- 4) 使用施設:パイプハウス(5m×30m)

赤外線マルチ スミサンスイマルチ03×2 トンネル(0.5ポリ)

- 5) 栽植密度:1730株/10a(畝幅180cm、株間40cm×条間50cm 2条植)
- 6)仕立て方法:立ち栽培一株一果着果
- 7)土壌消毒 臭化メチル+ネマトリンエース
- 8) 施肥量(10a当たり)

完熟堆肥2,000kg セルカ160kg 有機重焼燐 20kg

成分量(kg/10a) N:14.9 P:18.4 K:10.8

#### 3. 結果の概要

- 1)いずれの品種とも5月の連休以降に開花が始まり、5月11日~13日頃の着果が多かった(表 1)。
- 2) 春先からの低温の影響により、いずれの品種とも果実肥大は良くなかった。果実収穫期の一果重は'妃春秋系'、'パリス春Ⅱ'、'モネレッド907'、'モネレッド1035'、'ロイヤルレッド'の順となった(表2)。
- 3) 果形はいずれの品種とも同程度の果形指数(高さ/横径)となった(表2)。
- 4) ネットの発生はいずれの品種とも大きな差は無かったものの、'ロイヤルレッド'は揃いが悪く、'パリス春Ⅱ'は盛上りに欠けた(表2)。
- 5) 糖度は'妃春秋系'、'ロイヤルレッド'、'パリス春 II'、'モネレッド1035'、'モネレッド907'の順となった(表2)。

以上の結果、3月中旬は種の半促成栽培赤肉アールス系メロンでは'妃春秋系'が果実品質に優れ有望と考えられた。

## 【具体的データ】

表1 生育調査 調査日: 2010年6月15日

7 1 1 1 1 1 1 1 1							,			
 品種名	開花期	着果日	つる長	葉数	茎径	葉長	葉幅	葉柄長	節間長	着果
四浬石	州化朔	11 木口	(cm)	(枚)	(mm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	節位
モネレッド907	5/10-5/14	5月11日	106.0	25.0	12.0	17.0	23.6	15.8	4.2	10.8
モネレッド1035	5/12-5/16	5月13日	117.0	22.8	14.3	20.8	22.8	20.4	5.1	10.6
ロイヤルレッド	5/10-5/12	5月11日	116.2	22.2	12.1	18.0	22.0	16.4	5.2	12.0
妃春秋系	5/12-5/16	5月12日	123.6	24.8	13.8	20.0	26.4	19.4	5.0	10.4
パリス春 Ⅱ	5/11-5/14	5月12日	127.8	25.0	13.1	18.2	25.2	17.2	5.1	10.8

表2 収穫調査 調査日: 2010年7月5日

品種名	果重	高さ	横径	果形	ネット評価 <sup>Y</sup>		糖度
四1里石	(g)	(mm)	(mm)	指数 <sup>Z</sup>	揃い	盛上り	(Brix%)
モネレッド907	1,274	160	155	1.0	3.0	3.2	13.1
モネレッド1035	1,229	148	151	1.0	2.9	3.1	13.4
ロイヤルレッド	969	137	141	1.0	2.5	3.2	13.9
妃春秋系	1,383	160	153	1.0	3.0	3.1	14.1
パリス春 Ⅱ	1,278	156	155	1.0	3.3	2.3	13.5

Z:果実の高さ/横径

Y:不良:1、やや不良:2、標準:3、やや優れる:4、優れる:5 としたときの平均点数











写真 収穫期の果実外観